



金曾木だより

台東区根岸4-16-22 TEL 03(3876)3701 FAX 03(3871)9507
<https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1310218>

令和5年度7・8月号
台東区立金曾木小学校
校長 細田 儀広
令和5年 6月30日

「自ら学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子 自分の良さを伸ばす子」

地域と共に子どもを育てる

校長 細田 儀広

創立120周年記念春季大運動会では、たくさんの保護者、地域の方から子どもたちへ大きな声援とたくさんの拍手をいただき、誠にありがとうございました。私が本校に赴任して4年目となりますが、運動会としては4年間で一番、子どもたちが輝く姿を見ることができたように感じました。

さて、5月下旬から6月にかけて、台東区では神社祭礼が毎週のように行われていました。台東区は浅草寺をはじめとして、入谷七福神など有名な神社仏閣がたくさんあります。金曾木小学校の地元町会でも元三島神社、小野照崎神社、千束稲荷神社、三島神社などのお祭りで町会ごとにお神輿を出して、お祝いをしていました。私も、各町会の神酒所回りをしました。そこで、子どもたちと会う機会が度々ありましたが、子どもたちは4年ぶりに開催されたお祭りの雰囲気を楽しんでいました。私を見つけると「校長先生〜!」「あっ校長だ!」と言葉はそれぞれ違いますが、みんな嬉しそうに声をかけてくれます。普段は学校でしか会わない人が、お祭りという特別な空間にいることが珍しいようです。私も学校とは違った場所で、子どもたちの生き生きとした姿を見られることを嬉しく思います。

お祭りのあった週明けの月曜日、ある男の子に普段と同じように声をかけて肩に手を置いたところ、「校長先生、俺お神輿担いで肩が痛んだよ〜」と言われました。また、お神輿を担いだ他の子が「昨日お神輿を担いで、肩がめっちゃくちゃ痛い」と友達に話している姿を見ました。しかし、「痛い」という言葉と違い、お神輿を担いだ話をしている子どもたちの口調や表情からは、自分は「お神輿を担いだ」という誇らしさすら感じられます。「私のお父さんもお神輿担いだんだよ」と教えてくれる子もいます。お神輿を担ぐ大人の姿は、子どもたちにとって、「カッコいい大人の姿」として映っています。この子たちが、何年後かに地域の大人と一緒にお神輿を担ぎ、いつか子どもを連れてお祭りに参加するのだろう、と考えると、お祭りは地域行事を通した、連続と続く子育ての形なのだと感じます。私も、三島神社の祭礼では、お願いをしてお神輿を担がせていただきました。一緒にお神輿を担ぐ事で、職業、年齢、性別を超えた団結心や一体感が生まれ、清々しい気持ちになりました。何事も体験してみないとその良さは分かりません。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

場所を学校に変えて考えるとどうでしょう。普段学校にいないお家の方が、運動会で自分たちの姿を見に来てくれたことが子どもたちにとっては、新鮮で嬉しかったと思います。また、運動会の閉会式後の会場の片付けを手伝っていただいた保護者の皆様の姿は、お家の方が学校のために先生と一緒に頑張っている、という「カッコいい大人の姿」として子どもたちの目に映ったと思います。学校内外を問わず、様々なところで子どもたちへの関わりに感謝申し上げます。これから長い夏休みに入ります。子どもたちは学校外での生活時間が増えますが、健やかな成長のため、学校との連携を引き続きよろしく申し上げます。

4月の保護者会でお伝えしましたが、1学期と2学期の通知表の所見につきましては記載せず、個人面談の際に、子どもたちの学習や生活の様子について、詳しくお伝えさせていただきます。